

推 薦 状

公益財団法人関西エネルギー・リサイクル科学研究振興財団 御中

以下の通り、研究助成の候補者を推薦いたします。

1. 申込者（研 究 者）

ふりがな

氏 名

印 （男・女）

所属機関名・学部学科名・職名・学位

研究題目

2. 推薦者

ふりがな

氏 名

公印

所属機関名・職名

同上所在地

〒

電話（ ） — 内線

以 上

（注意）推薦状は、電子申請とは別に、書面による提出もお願いします。

見本

以下、字数が制限されている項目の説明は必ずその範囲内にまとめて下さい。

1. 研究目的・内容
(1)研究目的と経緯（本研究の目的とそれを発想・着想するに至った経緯を記入して下さい。過去に当財団の助成を受けられた方は、今回の研究との関係について説明して下さい。）（400字以内）
(2)本研究の内容と特色（①期間内に何をどこまで明らかにしようとするのか、 ②当財団の助成趣旨との関連性、③その他アピール点（独創性、新奇性、社会的意義等）について記入して下さい。）（800字以内）
(3)本研究に関する国内・外での研究状況（200字以内）
(4)本研究の展開（発展性）について（200字以内）

見本

2. 研究計画・方法（A4 1ページ以内）

(1) 研究目的を達成するための研究計画・方法を、下記「(2) 装置の構成」との関係も含めて記入して下さい。
過去に当財団の助成を受けられた方は、今回の研究との関係について説明して下さい。

(2) 装置の構成（新設と既設がわかるように書いて下さい。）

見本

3. 助成金の使途 本研究に係る全体の予定額_____万円、の内、助成金申込額_____万円 (申込内訳)：研究費_____万円 国内旅費・交通費_____万円、 海外旅費・交通費_____万円、 その他_____万円、 間接経費等_____万円		
助成金申込金額内訳 (研究計画・内容と助成金の使途との関係に留意して記入して下さい。) 注：① 費目(2)(3)に関し、学会等への参加の旅費・交通費は、申請額の20%が上限の目安です。 なお、現場調査等研究実施のための旅費は、この限りではありません。現場調査旅費等は、費目(4)「その他」に記載ください。(計上する場合は、余白部にその理由を記載下さい)。 ② 費目(3)の海外旅費等の使用は、研究計画の遂行上必要となる外国出張のための経費および外国で使用する経費とします。(計上する場合は、余白部にその理由を記載下さい)。 ③ 備品等の金額は一式表示をせず、詳細に記入して下さい。		
費 目	内 訳	金額 (千円)
(1) 研究費 (機器備品費、材料費、 実験費、計算機使用料、 分析計測費他)		
	(小計)	
(2) 国内旅費・交通費		
	(小計)	
(3) 海外旅費・交通費		
	(小計)	
(4) その他		
	(小計)	
(5) 所属組織の間接経費・ 一般管理費(オーバーヘッド)	(小計)	
(合計)		
4. 本研究に関する情報 本研究と関連する助成の有無：①今回お申込みの研究に関し、他の機関からの助成金等を受けられる場合、または申請中(予定を含む)の場合は、機関と費目(例：〇〇省〇〇費)、件名、時期、金額等について記入して下さい(ない場合は、「無」と記入)。なお、申請中のものが採択された場合には、速やかにご連絡下さい。 ②過去5年間に、今回お申込みの研究と類似の研究で、他機関の助成実績がある場合は、記入して下さい。		
a. 公的機関 ※科研費の研究代表者は○を付けて下さい。()		
b. 民間助成財団		
c. 企業他		

見本

5. 略歴および実績

(1) 研究者の略歴（最終学歴、職歴、学位名と取得年月）

大学等での研究歴： 年 [大学院博士課程（前期・後期）含む]

企業等での研究歴： 年

通算の研究歴： 年（2026年3月末時点）

(2) 研究者の研究実績

（研究者の当該研究分野に関する過去5年間における主要業績、主要発表論文の表題、著者（共著者を含む。）および発表先を記入して下さい。なお、主要発表論文の内3編以内の写しまたは別刷を添付して下さい。

過去に当財団の助成を受けられた方は、当該研究の成果に関する資料1編を添付して下さい。資料は原則として返却いたしません。）

注：記載紙面の追加は認められません。

2の(2) 記載例 （応募の際、このページは添付不要です）

<p>2. 研究計画・方法</p> <p>(1) 研究目的を達成するための研究計画・方法を、下記「(2) 装置の構成」との関係も含めて記入して下さい。 過去に当財団の助成を受けられた方は、今回の研究との関係について説明して下さい。</p>
<p>(2) 装置の構成（新設と既設がわかるように書いて下さい。）</p> <div><div>(既設)</div><div>(新設)</div><pre>graph TD subgraph Existing [既設] LA[レーザーアブレーション装置 ・ 熱電変換材料の作製] IS[イオン分光装置 ・ 材料組成分析 ・ 電子分光装置 ・ 電子状態測定 ・ 半導体測定装置 ・ 電気特性測定] TEM[熱電発電モジュール ・ 電力発生] end subgraph Newly_Installed [新設] ZC[ゼーベック係数測定装置 ・ 熱起電力測定] H2S[水素吸蔵合金反応熱利用昇温装置 ・ 水素の吸蔵・脱蔵] SPE[固体高分子電解質水電解装置 ・ 水素製造] end LA -- 材料 --> ZC ZC -- 結果 --> LA LA -- 材料 --> IS IS -- 結果 --> LA LA -- 材料 --> TEM TEM -- 電力 --> SPE SPE -- 水素 --> H2S</pre></div>